

小江戸かわごえ動物愛護推進員だより



あつ なつ
暑い夏から
あ い け ん まも
愛犬を守ろう！
に ほ ん なつ こくしょ
(日本の夏は酷暑です)

感染症

熱中症

皮膚疾患

「動物の愛護及び管理に関する法律」第7条（抜粋）
＊感染性の疾病について正しい知識をもち、その予防のために必要な注意を
払うように努めなければならない



問合せ先 川越市保健所 食品・環境衛生課
電話：049-227-5103
(平日8時30分～17時15分)



川越市マスコットキャラクター
ときも



1. 感染症から守る！

フィラリア 感染症

もしも
フィラリア症に感染した
動物の血液を吸った蚊に
さされたら…



油断は禁物！
猫もフィラリアに
かかります



- 蚊を媒介して、心臓や血管に寄生する寄生虫が起こす病気です
- 一年のうち、蚊が生息している時期は注意が必要です
- 重症化すると犬は致死率が高いため予防が非常に重要です

フィラリアは正しく薬を使用することで、
確実に**予防**ができます。

2. 熱中症^{ねっ ちゅう しょう}及び^{まも}やけどから守る！

アスファルトに15秒ほど
手をあてて確認してみよう！



熱中症及び
やけど

車内にペットを残さない！



散歩の時間帯に注意！

外気温32.3°Cの場合

32°C以上 150cm

36°C以上 5cm



猫や、常にケージに入れる
必要のある他の種類の
ペットにも配慮してあげて
ください

室内であっても長時間、日光に
さらされ続けられない様にする！



予防



室外

- お散歩は朝の涼しい時間帯や夕日がおちてからなど、時間帯をえらんであげること
- なるべく芝生や土の上を歩くコースをえらんであげること

室内

- 風通しを良くしておくこと
- エアコンを使って室温を管理し、自由に移動できるようにしておくこと

対策



- こまめな水分補給を心がけること
- 熱くなった身体を冷やすケアをしてあげること



少しでも**異変**を感じたら
動物病院へ連れて
行きましょう

3. 皮膚疾患から守る！

皮膚疾患

原因

- 皮膚が蒸れる
- 細菌が増殖する
- 炎症が起こる



対策

- 皮膚を清潔に保つことを心掛けること
- こまめなブラッシング、定期的なシャンプー、サマーカットなどトリミングをしてあげること

日本の夏は湿度も高いので
皮膚病・外耳炎がおこりやすい
季節です



愛犬からのSOSを
見逃さずに処置をして
あげましょう